

事業系一般廃棄物減量化等計画書の作成

1 事業系一般廃棄物減量化等計画書記入例

対象事業者の方は、減量化等計画書を作成し、指定期日までに提出してください。

様式第1号

令和 ○ 年度事業系一般廃棄物減量化等計画書

提出日を記入してください。

提出する年度（計画の年度）を記入してください。

分かれば記入してください（空欄でも構いません。）。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

（あて先）旭川市長

計画書を提出する事業者名等を記入してください。（押印は不要です）

事業者コード	○-○○○
住所（〒 ○○○-△△△△）	北海道旭川市○条通△丁目右○号 ××ビル3階
氏名	株式会社 ○○商事 代表取締役 ○○ ○○ <small>（法人にあっては名称及び代表者の氏名）</small> <small>（電話番号 ○○○-○○-△△△△）</small>

廃棄物管理責任者設置届に記載した廃棄物管理責任者（総括責任者）の氏名と連絡先を記入してください。市からの連絡事項は基本的にこの方に連絡します。
Eメールでの連絡も希望する方は、Eメールアドレスも記入してください。

廃棄物管理責任者（複数名の場合は総括責任者）	
氏名	○○ ○○
連絡先電話番号	○○○-△△△△-××××
連絡先Eメールアドレス	○○○@△△.××.jp

第11条第1項、旭川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則第4条及び旭川市事業系一般廃棄物の減量化等に関する指導要綱第5条第1項の規定に基づき、事業系一般廃棄物減量化等計画書を作成したので、次のとおり提出します。

◆大規模小売店舗の概要 ※大規模小売店舗（店舗面積1,000㎡以上）で事業を行っている事業者

大規模小売店舗の名称	
所在地	
設置する者の住所・氏名	
新設した日	年 月 日
店舗面積合計	

大規模小売店舗で事業を行っている事業者は記入してください。大規模小売店舗で事業を行っていても、事業者全体で月平均3トン以上排出する方は記入不要です。

◆店舗内事業所名 ※複数事業所が入居している場合に記入

◆保管場所（記入欄が足りない場合は、別紙を添付）

面積 (㎡)	住 所 (対象建築物等の名称)	収集運搬業者 (品目)
○㎡	○条通△丁目右○号 (××ビル)	△×清掃 (その他のごみ)、○○紙業 (古紙)、○○清掃社 (缶・ペットボトル)
○○㎡	○岡○条△△丁目 (スーパー××本店)	○●清掃社 (その他のごみ)、△△紙業 (古紙)、○○清掃 (缶・ペットボトル)
△△㎡	□町○条◇◇丁目 (スーパー××□町店)	△×清掃 (缶・ペットボトル・その他のごみ)、○○紙業 (古紙)

保管場所の住所と面積を記入してください。保管場所の住所には () 内に対象となる建物名称も記入してください。

それぞれの保管場所から収集運搬を行う業者名を記入してください。業者が品目毎に複数いる場合は、業者名の後に () 書で品目も記入してください。

**産業廃棄物は
記入しないでください**

※発泡スチロール、廃プラ等の記載がありますが、これらは個人消費分を除き産業廃棄物です。

【資源化量】

資源化施設に搬入した量を記入してください。

【処分量】

処分施設（処分場・清掃工場）に搬入した量を記入してください。

【資源化率】

分別区分毎の資源化率を記入してください。
(資源化率=資源化量÷処分量×100)

【発生量】 (=資源化量+処分量)

1年間で発生した一般廃棄物の量を分別区分毎に記入してください。(小数点以下1位まで) 分別区分は実際に手元で分別している区分に従って記入してください。

	発生量 トン/年	資源化量 トン/年	処分量 トン/年	資源化率 %	処分先
	0.9トン	0.9トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
	0.8トン	0.8トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
紙	2.0トン	2.0トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
・パ	1.8トン	1.8トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
	0.4トン	0.4トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
	5.0トン	5.0トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
	4.6トン	4.6トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
プラスチック製容器包装	0.3トン	0.3トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
生ごみ※	6.4トン	2.8トン	3.6トン	43.8%	近文清掃工場
燃やせるごみ	12.5トン	0.0トン	12.5トン		近文清掃工場
燃やせないごみ	5.5トン	0.0トン	5.5トン		廃棄物処分場
合計	40.2トン	18.6トン	21.6トン	46.3%	排出月平均発生量 3.4トン

【処分先】

処分先は、収集運搬許可業者などに確認し、品目毎の搬入先を記入してください。複数箇所ある場合には、どこから排出されるごみなのかを分かるようにして記入してください。

【前年度実績】

前年度実績
(前年4月～今年3月排出分)を記入してください。

【合計】

発生量・資源化量・処分量合計それぞれの合計を記入してください。

全体の資源化率を必ず記入してください。(小数点以下1位まで)

【排出月平均発生量】

ごみを出した月の平均ごみ量を記入してください。
1年を通じてごみを排出した場合は、(年発生量÷12ヶ月)

	発生量 トン/年	資源化量 トン/年	処分量 トン/年	資源化率 %	処分先
ペットボトル	0.6トン	0.6トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
新聞・コピー用紙	1.8トン	1.8トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
雑誌・カタログ・パンフレット	1.8トン	1.8トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
紙パック	0.4トン	0.4トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
段ボール	4.0トン	4.0トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
その他古紙	4.0トン	4.0トン	0.0トン	100.0%	〇〇紙業
プラスチック製容器包装	0.2トン	0.2トン	0.0トン	100.0%	REPLAファクトリー
生ごみ※	6.1トン	2.8トン	3.3トン	45.9%	近文清掃工場
			12.0トン		近文清掃工場
			5.0トン		廃棄物処分場
合計	30.2トン	16.5トン	20.3トン	44.8%	排出月平均発生量 3.1トン
対前年度増減率(%)	91.5%	88.7%	94.0%		

【対前年度増減率】

それぞれの項目について、対前年度増減率を記入してください。
(増減率=今年度計画÷前年度実績×100)

【今年度計画】

今年度計画
(今年4月～来年3月排出予定分)を記入してください。

※新規に対象となった事業者は前年度実績の記入不要です。
※数字は小数点以下第1位まで記入してください。
※上記の他、分別に取り組んでいるものがあれば、空欄に記入
※生ごみについては、食品リサイクル法に定める食品関連事業

ごみの減量化・資源化・リサイクル品の使用などに関する取組及び実績の自己評価を具体的に記入してください。

【前年度に実施した取組及び実績の自己評価】	【今年度計画する取組(具体的に)】
<ul style="list-style-type: none"> 事務所で職員個人用ごみ箱を撤廃した おおむねリサイクルに取り組んでいるが、空き缶、機密文書など更にリサイクルに取り組む余地がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の場などで職員に対する分別の周知を徹底する。 機密文書を全てリサイクルする。 通い箱を使う。 コピー用紙の裏面使用を徹底する。